

| | | | | | |
|--|--|----------------|-------------------------------|------|--------|
| 事業名 | 年間講座「高畑デジタル写真倶楽部」 | | | | |
| 主催 | 入江泰吉記念奈良市写真美術館 | | | | |
| 文化振興計画項目 | (1)市民の文化に対する意識の高揚に関すること。 | | | | |
| 目的 | 写真の基礎から応用編まで、写真撮影について学び、写真撮影に興味を持ち、写真に親しんでもらうことで、奈良の写真業界の活性化を図る。 | | | | |
| 重点対象 | なし | | | | |
| 目標値 | 来場者数 | 実績値 (入江作品展) | R元 | R2 | R3 |
| | 受講者数 1,440人 (48回) | | 1,353人 (44回、新型コロナによる最終回中止) | 743人 | 1,152人 |
| 事業区分 | 自主事業 | 事業予算 | 収入 | | 支出 |
| | | | 600千円 | | 206千円 |
| 概要 (実施方法、協力者や協働相手など) | | | | | |
| 市内在住・在勤の成人を対象とした、毎月1回火曜、全12回の年間講座で、本館の技術員が講師を務める。各回30人を定員とし、月4クラス実施。年間累計実施回数48回、受講者数1,440人(30人×48回) ただし現在は新型コロナ感染予防対策のため、受講者数3分の2に減らしての実施である。(30人→概ね20人) 各日ともに前半で撮影テクニックや知識などの講義を行い、後半に参加者の作品を持ち寄って作品講評を行う。初回講座のみ、入江泰吉旧居で実施し、入江氏のことを知ってもらうとともに、東大寺近辺にて撮影実習を行う。 受講料 年間5,000円/人 | | | | | |
| 事業スケジュール(準備を含む) | | | | | |
| 時期 | | 内容 | | | |
| 令和4年2月 | | 受講者募集 | | | |
| 令和4年4月 | | 講座開始 | | | |
| 令和5年3月 | | 講座終了 | | | |
| 事業費内訳(主な経費) | | | | | |
| 内訳 | 金額 | 内訳 | 金額 | | |
| 旅費交通費 | 6千円 | | | | |
| 通信運搬費 | 2千円 | | | | |
| 消耗品費 | 194千円 | | | | |
| 保険料 | 4千円 | | | | |

現状

募集定員を超える応募がある講座である。
常連の受講者も多くおり、講座内容の満足度は高い。

本講座が受講者同士のつながるきっかけにもなっており、情報交換を通して互いの写真技術の向上が図られている。

本講座に加え、受講者以外でも観覧者にも自由に見ていただける解説付き写真パネル「写真の撮り方ワンポイントアドバイス」も各展覧会期間中常設している。(年5回程度／記念写真の撮りかた、夕景夜景の撮りかた、秋の撮りかた、花の撮りかた)

課題

初回以外は全て写真美術館で実施しているが、紅葉の時期など外での撮影会等実習を盛り込めればなお良いと思っている。

ただ、受講者は高齢な方も多く、実現が難しい面もある。